

ライフサポートニュース

住まいとお金に関する話題についてお得な情報や役立つ知識をご紹介します。

ボーナスの使い道

自営業者の私には“ボーナス”のシーズンが来ると「いいな、ボーナス」と思う反面、ボーナスってこれから先、どこまであてに出来るのかなど。

日本経済新聞が冬のボーナスに対する意識調査が実施して調査結果が特集されましたので、ご紹介しながら、考えてみたいと思います。

貯蓄や生活費の補填といった“家計防衛”的な使い道が主流となった。投資に回るお金が限定的だが、一部には高利回りを狙う積極派も出てきた。

最近の報道では、いざなぎ越えと好景気が続いているような内容が多く見受けられますが、実感できる人は少ないのかなと思われ、また、**将来の不安や教育費などを考えると、景気が良い＝ボーナスがバーンと支給＝気前良く使っちゃえというようにはならない。**

このあたりの意識が、なかなか消費には回らないところなのでしょうか。それに加え、これだけいろいろな物が普及すると、特段と欲しいものがないというようなことも。

今回のボーナスが、貯蓄や住宅ローンの繰上げ返済というプラス方向になる人はまだ良くて、通常の住宅ローン・ボーナス加算返済で終わりとか、家計のマイナス分補填という後ろ向きな使い道だと、ちょっと苦しいですね。

やはり、**ボーナス返済なしの月々返済のみの住宅ローン**にして、ボーナス分はプラス方向に回す方が、家計的にも精神的にも良いと思います。自営業者だから、なおさらそう感じてしまうのかもしれない。

また、今年に住宅ローン金利の転換点となる大きな出来事が二つ（量的緩和解除、ゼロ金利解除）ありましたが、金利急上昇の懸念が薄れ、ボーナスを住宅ローンの返済に回す人の割合は少なかった。

記事では、「切り替えのタイミングを計っている。」「住宅ローン減税があるうちは慌てて減らさない」など。

こう考えられるのも、通常の住宅ローン返済のボーナス加算が占める割合が少ないとか、日々の家計に余裕があるからできるのでしょうか。

さて、みなさまは、この冬のボーナスをどう使いますか？ボーナスがない私はいつも通りです。

相続と不動産

“相続税”となると大半の方が基礎控除や課税価格の計算方法などから相続税は課税されず、関係ないことも多いですが、“**相続**”となると**誰しも必ずというくらいに関係すること**になります。

「いやいや、うちには資産そのものがないから、相続する資産もなく、関係ないよ」という方でも、借金も相続の対象ですから、関係します。

相続が発生した時、相続人になるのは、配偶者がいれば常に相続人になり、その他、子供がいれば子供（孫）と、子供がいなければ親（祖父母）と、子供も親や祖父母もいなければ、兄弟姉妹との組み合わせになります。

1. 配偶者+子供（子供が死亡→孫）
2. 配偶者+子供なしなら親（親が死亡→祖父母）
3. 配偶者+1も2も該当しなければ兄弟姉妹

想定相続割合は、1. 配偶者1/2：子供1/2。2. 配偶者2/3：親1/3。3. 配偶者3/4：兄弟姉妹1/4。

相続人になるべき子供が被相続人（相続財産を残して死亡した人）より先に死亡していた場合、子供に子供（孫）がいれば、孫に相続人の立場は継承される。

以上が民法で定められた相続の取り分になり、これを法定相続人、法定相続分と言います。

もし、遺言もなく、資産が全て現金なら、きれいに分けることができますが、日本の場合はおそらく資産に不動産が含まれるケースが多いと思われ、不動産は個々の要素がひとつひとつ違いますから、誰がどこを取るということでもめることがあります。

このような事情で売り出される不動産は多くあります。この中には、兄弟や親戚とは言え、別の世帯である複数の人が共同で売却にあたるわけですから、**売主側の意見がまとまらないこと**もしばしばあります。

早く現金化したい人は、多少安くてもいいが、急いでない人は、時間がかかっても良い条件で売りたい。ここで不動産会社の腕の見せ所です。

購入する側としては、**共有名義の場合、ひとりが承諾してもダメで、全員が承諾する必要がある**のは当然です。実務としては、名義が被相続人から変更していない場合、遺産分割協議書という書類を作成し、相続人全員が承諾していることを確認する必要があります。

ライフサポートニュース

住まいとお金に関する話題についてお得な情報や役立つ知識をご紹介します。

せっけんの街

こんにちは、Aです。以前、生活クラブ生協 に入っていたとき、プレゼントで せっけんの街 という粉せっけんを頂いたことがあります。

詳しい使い方（用途）を聞き忘れたため、しばらくほうっておいたのですが、せっかかもらったのに勿体無いな～と思い、とりあえず台所シンクのステンレス洗いにつかってみました。

いまどき珍しいくらいに香料の匂いもせず、ぜんぜん期待していなかったのですが、これをちょこっとスポンジに付けて、シンクをかるーく擦るだけであれよあれよというまに汚れが綺麗に落ちていく優れもので驚きました。

HPで調べたところ、洗濯にも台所や掃除にも使えるものようです。

また、せっけんの街というのは洗剤メーカーが作っているわけではなく、特定非営利活動法人「手賀沼 せっけん工場」が、廃食用油を使い、せっけんの製造と販売をされているそうです。この工場は、市民出資で作った工場とのこと。

千葉県内約20市町村から、年間約60トンの使用済み食用油（廃食用油）を回収し、せっけんやバイオディーゼル燃料に再生、再び地域に返していく活動をしているそうです。

また、こちらでは、せっけんの製造や販売だけではなく、環境イベントに参加・開催、ワークショップの運営も行われています。

手賀沼にきれいな水を取り戻すために作られた環境にやさしい粉石けん「せっけんの街」は、手荒れにも優しいせっけんです。これからの季節、手荒れでお悩みの方にもおすすめです。見かけたらぜひ試してみてください♪

— お知らせ —

平成18年12月より“お客様担当（営業）”として新しい仲間が入社します。今まで、たくさんの方より、ご依頼、ご入会頂きながら、弊社の対応力不足で、ご迷惑をお掛けしましたことをお詫び致します。対応力が増強された暁には、少しでも多くの方のお役に立てるようにして参ります。何卒、よろしくお願ひ申し上げます。このニューズレターでも、いつか登場することがございますので、ご期待下さい。

松戸ラドン温泉

こんにちは、Aです。数日前、以前から気になっていつ、一度も足を運んだことの無かった 松戸ラドン温泉 へ行ってきました。

場所は、松戸市和名ヶ谷というところにあります。和名ヶ谷小学校のすぐ近く。車で行くと、少し迷いそうな場所です。が、松戸駅東口からと、八柱駅前からは無料マイクロバスが出ていますのでこちらを利用するのも良さそう。

わたしが行ったのは、オープン直後の朝10時で、平日のためか空いていました。それでも意外と来店者は後を絶たず（見事にみんな、おばあちゃん）、この人気の程をうかがい知ることができました。

まず、フロントで靴箱の鍵と引き換えに、ロッカーキーやレンタルの浴衣、タオル大小各1枚を受け取ります。これらは入場料金に含まれています。

浴室は、洗い場が20席くらいと、天然岩風呂、ジェットバス、ラドン浴槽、サウナルーム（低温・高温それぞれあり）、延寿薬湯があります。嬉しいことに、ナイロンタオルは無料で貸してくれるし、使い捨て歯ブラシもありました！

大きな窓から見えるのは、和名ヶ谷の大自然！・・・というより山です。緑が美しく、初めてここを訪れたのが晴れた日の昼間で良かったな～としみじみ。

温泉マニアではないので、お湯のことは詳しく分かりませんが、肌触りからしてすこしやわらかく、とろみのあるお湯に感じ、スーパー銭湯とはまったく違い塩素臭くないところも嬉しかったです。

その他、1,000円カット、あかすり、足つぼマッサージ、岩盤浴もあります。（入場料とは別料金ですがそれでも一般的な価格よりお安い）

お風呂に入ってご飯を食べてだらだらと怠惰な1日を過ごすには、入場料の1,000円が安く思えます。わざわざ渋滞する高速道路を使って遠方の温泉に行くくらいなら、ここでのんびりすごしたほうがよっぽど骨休めになりそうですよ♪

最近、近くにできた湯楽の里のほうがお湯の質より施設の質を重視される風潮で人気があるのかもしれませんが、ほんとうの温泉好きはラドン温泉のほうに行くんだろうな～と感じました。